

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、持ち直している」

| 項目 | 前回（5年1月判断） | 今回（5年4月判断） | 前回比較 |
|------|------------|------------|------|
| 総括判断 | 持ち直している | 持ち直している | → |

（注）5年4月判断は、前回1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、外出機運の高まりやインバウンドの回復により持ち直している。生産活動は、半導体需要の鈍化や、自動車向けの需要回復の遅れなどから足踏みの状況にある。雇用情勢は、新規求人数が増加しているなど持ち直している。

【各項目の判断】

| 項目 | 前回（5年1月判断） | 今回（5年4月判断） | 前回比較 |
|--------|--------------------------------|----------------|------|
| 個人消費 | 持ち直している | 持ち直している | → |
| 生産活動 | 供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている | 足踏みの状況にある | ↘ |
| 雇用情勢 | 持ち直している | 持ち直している | → |
| 設備投資 | 4年度は前年度を上回る見込み | 4年度は前年度を上回る見込み | → |
| 企業収益 | 4年度は減益見込み | 4年度は減益見込み | → |
| 企業の景況感 | 「上昇」超に転じる | 「下降」超に転じる | ↘ |
| 住宅建設 | 前年を下回る | 前年を下回る | → |
| 輸出 | 前年を上回る | 前年を上回る | → |

【先行き】

先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直している」

業態別にみると、ホームセンター販売は、インテリア用品などが低調であり、前年を下回っている。スーパー販売、百貨店販売は、外出用品などが好調となっており、前年を上回っている。ドラッグストア販売は、花粉症の鼻炎薬や目薬などが好調となっており、前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、飲食料品が好調となっており、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、完成車メーカーが国内向けの供給を増やしたことなどから、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車いずれも前年を上回っている。このように、個人消費は、全体では、持ち直している。

（主なヒアリング結果）

- 巣ごもり需要の減退により来店客数が減少し、インテリア用品やDIY関連用品などが低調となっている。（ホームセンター）
- 飲食料品は、物価高により買上点数が減少しているなど、消費者の節約志向が高まっているものの、外出機運の高まりに加え、卒業式、入学式のセレモニー需要により衣料品などの売上が回復している。（スーパー）
- 旅行や外出用の衣料などが好調となっている。インバウンドの増加に伴い、コロナ禍前の水準には至らないものの、免税売上も大幅に増加した。（百貨店）
- 花粉症の鼻炎薬や目薬などが好調であったほか、マスクオフ生活に向けて化粧品関連に回復の兆しがみられる。（ドラッグストア）
- 外出機会が増加していることなどから、おにぎりやドリンクなどが好調となっている。（コンビニエンスストア）
- 半導体不足による納車待ちの状態が続いているが、完成車メーカーが国内向けの供給を増やしたことなどから、登録台数が前年を上回っている。（自動車販売）
- マスク着用ルールの緩和等による旅行機運の高まり、全国旅行支援の継続などもあり旅行需要が回復してきている。（旅行代理店）
- 旅行需要が回復してきており、外国人観光客も増加しているため、客室稼働率は高い水準で推移している。飲食店についても行列ができるほどの賑わいとなっている。（宿泊業・飲食サービス業）

■ 生産活動 「足踏みの状況にある」

輸送機械は、半導体不足の緩和で、化学は、医療分野などの堅調な需要により、小幅な増加となっているものの、汎用・生産用・業務用機械、電気機械は、半導体関連産業の需要の鈍化などから大きく減少している。また、鉄鋼は、自動車向けの需要が回復していないことなどから、減少している。このように、生産活動は、全体では、足踏みの状況にある。

- 半導体不足の影響が幾分緩和されたことから、生産が増加している。（輸送機械）
- 海外のインフラ向けなどの需要に弱い動きがみられるものの、医療分野などの機能性製品の需要が堅調となっている。（化学）
- 通信機器向けの半導体需要が鈍化しており、半導体製造装置関連の受注が減少している。（生産用機械）
- 中国の半導体国産化の影響などから、電子機器向けの受注が減少している。（電気機械）
- 完成車メーカーの生産の回復が遅れていることから、部品メーカーの在庫がたぶついており、生産が減少している。（鉄鋼）

■ 雇用情勢 「持ち直している」

雇用情勢は、有効求人倍率が引き続き高水準で推移していることや、新規求人数も増加していることから、持ち直している。

- IT人材が不足しているものの、売上が伸びず資金がないため人員を増やせていない。（繊維工業）
- 観光需要の回復により来客数は増加しているものの、人手不足のため客室の稼働率を抑えている。（宿泊）
- マスク着用の基準が見直されるなど、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和してきていることから、求職活動を新たに開始する動きがみられている。（公的機関）

- **設備投資 「4年度は前年度を上回る見込み」**（全産業）「法人企業景気予測調査」5年1-3月期
- 製造業では、「自動車」などで減少するものの、「生産用機械」、「化学」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
 - 非製造業では、「運輸、郵便」などで減少するものの、「小売」、「その他のサービス」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- 老朽化した設備の更新や生産能力向上のための設備投資を実施。（生産用機械）
- 効率化を図るために各店舗の食品加工作業を集中して行う工場を新設。（小売）

- **企業収益 「4年度は減益見込み」**（全産業）「法人企業景気予測調査」5年1-3月期
- 製造業では、「生産用機械」、「その他輸送用機械」などで増益となるものの、「化学」、「木材・木製品」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
 - 非製造業（除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」）では、「医療・教育」、「学術研究、専門・技術サービス」などで増益となるものの、「建設」、「小売」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

- **企業の景況感 「『下降』超に転じる**」（全産業）「法人企業景気予測調査」5年1-3月期
- 企業の景況判断BSIは、「下降」超に転じている。なお、先行きは「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

- **住宅建設 「前年を下回る」**
- 新設住宅着工戸数で見ると、分譲住宅が増加しているものの、持家、貸家などが減少していることから、前年を下回っている。

- **輸出 「前年を上回る」**
- 輸出（円ベース）は、化学製品、鉄鋼などが減少しているものの、石油製品、一般機械などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、北米で減少しているものの、西欧、アジアなどで増加している。
 - なお、輸入（円ベース）は、石炭、原油及び粗油などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジア、大洋州などで増加している。

3. 各県の総括判断

| | 前回（5年1月判断） | 今回（5年4月判断） | 前回比較 | 総括判断の要点 |
|-----|------------|------------------------|------|--|
| 広島県 | 持ち直している | 持ち直している | ➡ | 個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、外出機運の高まりやインバウンドの回復により持ち直している。生産活動は、半導体需要の鈍化や、自動車向けの需要回復の遅れなどから足踏みの状況にある。雇用情勢は、新規求人数が増加しているなど持ち直している。 |
| 鳥取県 | 持ち直しつつある | 一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある | ➡ | 生産活動は足踏みの状況にあるものの、個人消費は持ち直しつつあり、雇用情勢は持ち直している。 |
| 島根県 | 持ち直している | 持ち直しのテンポが緩やかになっている | ➡ | 個人消費は緩やかに持ち直している。生産活動は弱含んでいる。雇用情勢は持ち直している。 |
| 岡山県 | 持ち直している | 持ち直している | ➡ | 個人消費は、持ち直している。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。 |
| 山口県 | 持ち直している | 持ち直している | ➡ | 個人消費は、物価上昇の影響はみられるものの、持ち直している。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、持ち直している。 |